愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	専門演習Ⅳ		
担当者(Instructors)	水野 伸子	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

専門演習Ⅲに引き続き、健康に関連する自らの研究テーマについて、ゼミ論文の完成を目指す。具体的には、結果をもとに考察し結論を導き出し、ゼミ論文の全体の推敲を繰り返し完成させ、プレゼンテーションする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	授業は、グループワークを中心とした演習形式で実施され、受講者同士での課題に関するプレゼンテーションを実施する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス	ゼミ論文完成までの計画を立てる	□
第2回	結果の整理、考察の検討	結果を整理し、どのような考察ができるか検討する	□
第3回	考察、ゼミ論文執筆（1）	考察を作成し、ゼミ論文を執筆する	□
第4回	考察、ゼミ論文執筆（2）	考察を作成し、ゼミ論文を執筆する	□
第5回	ゼミ論文全体の構成確認	結論を記載し、ゼミ論文の構成を確認する	□
第6回	ゼミ論文の提出：１回目	考察まで記載したゼミ論文を提出	□
第7回	ゼミ論文の推敲（1）	ゼミ論文を推敲する	□
第8回	ゼミ論文の推敲（2）	ゼミ論文を推敲する	□
第9回	ゼミ論文の提出：２回目	推敲し、結論まで記載したゼミ論文を提出する	□
第10回	メンバーの相互チェック	ゼミ論文を学生同士で相互チェックする	□
第11回	ゼミ論の発表準備	プレゼンテーション資料を作成し発表の準備をする	□
第12回	ゼミ内発表会（1）	ゼミ内で発表し、受講者と意見交換する	□
第13回	ゼミ内発表会（1）	ゼミ内で発表し、受講者と意見交換する	□
第14回	ゼミ論の最終修正	ゼミ論文を最終修正し提出する	□
第15回	卒論発表会	卒論発表会に参加する	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

次回の演習内容について、キーワードなどを調べ予習する（2時間程度）。終了後は学びを整理する（2時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

次回の演習内容について、キーワードなどを調べ予習する（2時間程度）。終了後は学びを整理する（2時間程度）。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019子ども発達DP1	研究目的に沿った方法を考え、先行文献から他者の主張を理解し、自分の考えを修正したり深めたりして記述することができる。
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	他者の主張を批判的に読み、偏ることなくバランスを保ちながら論じ記述することができる

主体性	◇ 2019子ども発達DP3	研究に向けて主体的に自ら文献収集し分析に取り組むことができる

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			80%	20%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

課題レポートやプレゼンテーションの内容（80%）
ディスカッションへの参加度（主体性や積極性）（20%）

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	はじめてでも、ふたたびでも、これならできる! レポート・論文のまとめ方	4799108379
2	大学生のための表現力トレーニング　あしか（レポート・論文編）	4904595831
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		